

指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、平成28年12月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

1 指定概要

(1) 施設概要

名 称：北九州市立勝山公園・あさの汐風公園

事業内容：公園の管理運営、公園施設及び植物の維持管理、賑わいづくり

所在地等：

【勝山公園】

- ・所 在 地：北九州市小倉北区内1番ほか
- ・開 設 年 月 日：昭和32年4月1日
- ・公園開設面積：210,603㎡
- ・主 な 施 設：大芝生広場、花壇、グリーンエコハウス、駐車場、遊具

【あさの汐風公園】

- ・所 在 地：北九州市小倉北区浅野三丁目3～6番
- ・開 設 年 月 日：平成23年8月6日
- ・公園開設面積：17,387㎡
- ・主 な 施 設：大芝生広場、親水広場、周回園路

(2) 指定期間

平成29年4月1日～平成34年3月31日

(3) 指定管理者候補の概要

名 称：北九州パークマネジメント共同事業体

所 在 地：小倉北区下到津五丁目9番22号

代表団体：岡崎建工株式会社

構成団体：RKB毎日放送株式会社、NPO法人NORTH NINE

主な業務内容：

【岡崎建工株式会社】造園設計、施工並びに維持管理

【RKB毎日放送株式会社】放送事業、各種催物の企画・製作・販売・興行

【NPO法人NORTH NINE】地域活性化イベントの企画・運営、魅力ある人材育成に関する教室の開催

2 指定の経緯

平成28年7月22日～8月1日 募集要項配付
平成28年9月23日 募集締切
平成28年10月8日 指定管理者検討会の開催
平成28年11月 指定管理者候補を決定

(1) 応募資格

- ・法人、その他の団体であること。(個人による応募は不可)
- ・本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの。
- ・募集説明会に参加していること。(共同事業体で応募する際は、代表団体が募集説明会に参加していること。)
- ・共同事業体を構成する場合は、競争性を確保した上で、本市経済の振興と地元団体の育成を図る観点から、可能な限り地元団体を構成員とするよう努め、最低1団体は地元団体とすること。

(2) 応募状況

説明会参加：26団体

応募件数：3共同事業体

- ・北九州パークマネジメント共同事業体
(岡崎建工株式会社、RKB毎日放送株式会社、NPO法人NORTH NINE)
- ・あさの勝山ECORA共同事業体
(株式会社九州造園、株式会社朝日広告社)
- ・まちは公園共同事業体
(株式会社オリエンタルコンサルタンツ、株式会社北九州家守舎、株式会社タウンマネジメント魚町)

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討しました。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定しました。

4 検討会構成員

- 【学識経験者(緑地計画)】 薛(せつ) 孝夫(西日本短期大学特任教授)
- 【学識経験者(デザイン)】 内田 恵里子(西日本工業大学デザイン学部情報デザイン学科講師)
- 【学識経験者(ランドスケープエコロジー)】 藤田 直子(九州大学大学院芸術工学研究院准教授)
- 【公認会計士】 梅田 久和(梅田公認会計士事務所所長)
- 【市民代表】 勅使河原 奈津子(北九州市青少年育成市民会議事務局長)

5 選定基準

選定基準	選定のポイント
1 指定管理者としての適性	
(1) 施設の管理運営(指定管理業務)に対する理念、基本方針	○市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営(指定管理業務)に対する理念や基本方針を持っているか。
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	○長期間安定的な管理運営(指定管理業務)を行っていくだけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
(3) 実績や経験など	○同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。 ○施設の管理運営(指定管理業務)に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。 ○複数の団体が共同して一つの応募団体となっている場合、それぞれの責任分担等が明確になっているか。
2 管理運営計画の適確性	
【有効性】	
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	○施設の管理運営(指定管理業務)に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。 ○施設の利用者の増加や利用者層の拡大、利便性を高めるための実施可能な提案があるか。 ○施設間の有機的な連携が図られる提案があるか。 ○施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
(2) 利用者の満足向上	○利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。 ○利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。 ○利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。 ○利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。 ○その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。
【効率性】	
(3) 指定管理料及び収入	○指定管理業務に係る費用(指定管理料)が最小限に抑えられているか。 ○収入が最大限確保される提案であるか。
(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性	○収支計画が妥当かつ、実現可能な提案であるか。 ○経費の配分は適切であるか。 ○積算根拠は明確であるか。 ○再委託が適切な水準で行われているか。
【適正性】	
(5) 管理運営体制など	○施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。 ○施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であるか。 ○施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。 ○職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。 ○地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	○施設の利用者の個人情報を保護するための対策が十分に考えられているか。 ○利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。 ○日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。 ○防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分考えられているか。

【評価レベル】

評価レベル	乗率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

6 審査結果

(1) 評価レベル及び得点

団体名	選定基準（＝審査項目） 及びポイント	配点	評価レベル						平均	審査 結果	得点
			構成員								
			A	B	C	D	E				
北九州 パーク マネジ メント 共同事 業体	1 指定管理者としての適性										
	(1)施設の管理運営（指定管理業務） に対する理念、基本方針	5	4	3	3	3	4	3.4	3	3	
	(2)安定的な人的基盤や財政基盤	5	3	3	3	3	4	3.2	3	3	
	(3)実績や経験など	5	4	4	3	4	3	3.6	4	4	
	2 管理運営計画の適確性										
	【有効性】										
	(1)施設の設置目的の達成に向 けた取組み	30	4	4	3	3	4	3.6	4	24	
	(2)利用者の満足向上	10	4	3	3	3	3	3.2	3	6	
	【効率性】										
	(3)指定管理料	15	3	3	3	3	3	3.0	3	9	
	(4)収支計画の妥当性及び実現 可能性	10	3	3	3	3	3	3.0	3	6	
	【適正性】										
	(5)管理運営体制など	10	4	3	3	3	4	3.4	3	6	
	(6)平等利用、安全対策、危機管 理体制など	10	4	3	3	3	3	3.2	3	6	
	合 計	100	74	67	60	61	70	—		67	
市内団体に対する優遇措置（5点）									72		

※「平均」欄は小数点第1位まで記入。小数点第2位以下は切捨て

団体名	選定基準（＝審査項目） 及びポイント	配点	評価レベル						平均	審査 結果	得点
			構成員								
			A	B	C	D	E				
あさの 勝山E COR A共同 事業体	1 指定管理者としての適性										
	(1)施設の管理運営（指定管理業務） に対する理念、基本方針	5	3	3	2	3	3	2.8	3	3	
	(2)安定的な人的基盤や財政基盤	5	3	3	3	3	4	3.2	3	3	
	(3)実績や経験など	5	3	3	3	3	3	3.0	3	3	
	2 管理運営計画の適確性										
	【有効性】										
	(1)施設の設置目的の達成に向 けた取組み	30	3	4	3	3	3	3.2	3	18	
	(2)利用者の満足向上	10	3	4	3	3	3	3.2	3	6	
	【効率性】										
	(3)指定管理料	15	3	3	3	3	3	3.0	3	9	
	(4)収支計画の妥当性及び実現 可能性	10	3	3	3	2	3	2.8	3	6	
	【適正性】										
	(5)管理運営体制など	10	4	3	3	3	3	3.2	3	6	
	(6)平等利用、安全対策、危機管 理体制など	10	3	3	3	3	3	3.0	3	6	
	合 計	100	62	68	59	58	61	—		60	
市内団体に対する優遇措置（5点）									65		

※「平均」欄は小数点第1位まで記入。小数点第2位以下は切捨て

団体名	選定基準（＝審査項目） 及びポイント	配点	評価レベル						平均	審査 結果	得点
			構成員								
			A	B	C	D	E				
まちは 公園共 同事業 体	1 指定管理者としての適性										
	(1)施設の管理運営（指定管理業務） に対する理念、基本方針	5	3	3	3	3	3	3	3.0	3	3
	(2)安定的な人的基盤や財政基盤	5	3	3	3	2	3	3	2.8	3	3
	(3)実績や経験など	5	3	4	3	3	3	3	3.2	3	3
	2 管理運営計画の適確性										
	【有効性】										
	(1)施設の設置目的の達成に向 けた取組み	30	4	3	2	3	4	4	3.2	3	18
	(2)利用者の満足向上	10	4	3	3	3	4	4	3.4	3	6
	【効率性】										
	(3)指定管理料	15	4	3	3	3	3	3	3.2	3	9
	(4)収支計画の妥当性及び実現 可能性	10	3	3	2	2	3	3	2.6	3	6
	【適正性】										
	(5)管理運営体制など	10	3	3	3	3	4	4	3.2	3	6
	(6)平等利用、安全対策、危機管 理体制など	10	4	3	3	3	3	3	3.2	3	6
合計	100	73	61	52	57	70	70	—		60	
準市内団体に対する優遇措置（3点）										63	

※「平均」欄は小数点第1位まで記入。小数点第2位以下は切捨て

(2) 検討会における主な意見

【北九州パークマネジメント共同事業体】

- ・実績、経験が評価できる。
- ・植栽に十分配慮した管理をする点、苦情対応などが評価できる。

【あさの勝山E C O R A共同事業体】

- ・北九州市のイベントが一過性のものが多い中、常設型のカフェを提案していることは評価できる。
- ・常設のカフェを置くとなると、常時人を配置することになるので、収支をプラスにできるか疑問である。

【まちは公園共同事業体】

- ・公園の維持管理の専門集団であるかという点では少し心配である。
- ・利用者の満足が得られるように考慮されている点が評価できる。
- ・収支が自主事業次第でどうなるか分からない点が心配である。

- ・ 沢山の事業を持ってきて、沢山稼ごうとする点は評価できる。

(3) 検討会における検討結果

「北九州パークマネジメント共同事業体」は、公園の維持管理において現地に作業班を常駐させ、市の要求水準を堅実に満たす内容となっている。また、賑わいづくりについても、一過性のイベントだけではなく着実に日常的な利用を増やす提案を行っており、総合的に見て安定感がある。

「あさの勝山E C O R A共同事業体」は、維持管理に関する提案が乏しく、賑わいづくりで魅力のある提案事業もあったが、それに頼った提案となっている。

「まちは公園共同事業体」は、維持管理に関する提案が乏しく、多くのイベントを実施しようとする意欲はあるが、賑わいづくりに偏った提案となっている。

審査の結果、検討会としては「北九州パークマネジメント共同事業体」が指定管理者の候補として最も相応しいと考える。

7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、「北九州パークマネジメント共同事業体」を指定管理者候補に選定しました。

代表団体：岡崎建工株式会社

構成団体：RKB毎日放送株式会社、NPO法人NORTH NINE

(1) 選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり。

(2) 市における主な選定理由

- ・ 公園の設置目的をよく理解し、現地に維持管理の作業班を常駐させるなど、植栽等の維持管理に重点的に取り組む提案となっている。
- ・ 類似施設で指定管理業務の実績、経験があり、また、安全対策や苦情対応等についてもしっかり提案されていることから、安定した管理運営が期待できる。
- ・ 賑わいづくりについては、一過性のイベントだけではなく着実に日常的な利用を増やす実現性の高い提案がなされており、堅実に公園の利用を増やしていこうとする意欲が強く感じられる。

8 提案額

平成29年度	55,368千円
平成30年度	54,190千円
平成31年度	52,469千円
平成32年度	51,506千円
平成33年度	50,693千円

北九州市立勝山公園・あさの汐風公園指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	北九州パークマネジメント共同事業体	あさの勝山E C O R A共同事業体	まちは公園共同事業体
1 指定管理者としての適性について	<p>(1) 施設の管理運営(指定管理業務)に対する理念、基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 両公園の設置目的や公園施設の在り方、市の基本方針等の施策を考察・理解したうえで、次の運営理念と基本方針を策定し、管理運営に努めてまいります。 〈運営理念〉 画一的、硬直的な管理に終始するのではなく、まちのため、市民のために両公園のポテンシャルを最大限に引き出すことを目的とします。 様々なステークホルダーとの合意に基づき柔軟なマネジメントを行なうことで、市民にとって「使い勝手の良い公園」、市民が「使いこなせる公園」を目指します。 〈基本方針〉 1. 公園の特性やニーズに応じて多くの人が利用する公園づくり 2. 一年を通じてにぎわう「行きたくなる」公園づくり 3. 都市のシンボルにふさわしい高品質で快適な公園づくり 4. 施設間連携による回遊性向上と人の流れづくり 5. 安全・安心・平等で誰もが使いやすい公園づくり <p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> 当団体代表企業は、緑化建設事業とビルメンテナンス事業を中心に事業展開しており、9年間にわたる総合公園の管理業務の実務を有する公園管理運営士や 1 級造園施工管理技士をはじめとする各種の専門的有資格者を有しており、人員的にも造園の現業職社員 20 名在籍など現地への素早い対応が可能です。公共施設の清掃、警備、駐車場管理の実績による経験やノウハウと有資格者などの優秀な人材を有しているため、総合的な公園管理運営が実現できます。 当団体代表企業は、植栽管理や清掃などの作業に必要な機器類、車両等を保有しているため、再委託に頼らないばかりか、フレキシブルで迅速な対応が可能です。 当団体構成企業は、放送事業をはじめ、各種催物の企画、製作、及び興行などを行っており、イベントや広報に長けた人材を多く有しております。また、これまでにまちづくりに携わってきた人員も多いため、利益追求重視のイベント企画ではない持続可能な事業展開を得意としています。 <p>(3) 実績や経験など</p> <ul style="list-style-type: none"> 当団体代表企業は、平成 19 年度より福岡県営中央公園の指定管理業務を受託しており、これまでに 4 度の A 評価を頂いております。さらに、平成 18 年度より志井公園内のアドベンチャープールの指定管理業務、平成 26 年度よりグリーンパークの指定管理業務を受託しております。 当団体代表企業は、指定管理業務以外にも勝山公園の整備工事など公園整備や植栽管理などの業務実績も多数あり、公共施設の清掃業務や駐車場管理などビルメンテナンス業の実績も多数有しております。 当団体構成企業は、北九州マラソンの企画運営や紫川フェスティバルの実行委員会編成など、勝山公園を絡めた事業を毎年行なっています。 	<p>(1) 施設の管理運営(指定管理業務)に対する理念、基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続的な賑わいをつくるのに重要なのは「新たなイベントをつくる人を育てること」 エコハウスをワクワクの元となるエネルギーを集め、拡散させる「心臓」とする。 エコハウスを「Park Café」とし、管理事務所と共に街のエネルギー発信拠点とする。 賑わいの中心となる公園は、美しく保ち、安全性を担保し、適切に管理する。 「元気なワクワクする公園」だけでなく、「ほっとする時間」を市民に提供する。 <p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> (株)九州造園・・・北九州市の造園工事業者として、緑化維持管理や公園等の施工に携わっており、多数の協力企業がある。年間売上高2億5千万円 (株)朝日広告社・・・多くのイベント実績があり、トミタプロデュースの富田剛史氏が賑わいづくりにおける企画運営の総合プロデューサー。 <p>(3) 実績や経験など</p> <ul style="list-style-type: none"> (株)九州造園・・・北九州市、国、福岡県の公園、道路、施設の緑化維持管理経験 主に、公園管理業務を担当。 (株)朝日広告社・・・トミタプロデュースと協働で、「紫川で、会いましょう」シリーズ、紫川語り部屋形舟、「小倉オープンカフェマンス」等のイベント 主に、賑わいづくりのプロデュースを担当。 	<p>(1) 施設の管理運営(指定管理業務)に対する理念、基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 当JVは、「都市公園の存在価値と利用価値を高める好循環を生み出す！」を理念に、勝山公園、あさの汐風公園を「2つの公園」としてではなく、まち全体に公園の魅力を染み出させていく「パークエリア」として捉え、以下の4つの基本方針に基づき管理運営に取り組みます。 基本方針1.【魅力的な日常空間】 小倉の豊かな暮らしにアクティビティのある「日常」の創出 基本方針2.【積極的投資】 両公園の活用にあたり積極的に投資し、公共施設としての公益と民間企業の収益の確保 基本方針3.【持続可能な公園運営】 公共空間の一体的な活用による新しい雇用の創出と産業を育成 基本方針4.【まちの価値向上】 経済的利益を循環させ、公共サービスを維持向上し、エリアの価値を向上 <p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表企業(株)オリエンタルコンサルタンツは、北九州市内に響灘緑地管理所、浅生スポーツセンター管理所、北九州事務所を、福岡市に九州支店を置き、北九州市内で 100 名以上の社員・アルバイトを有しています。売上高・営業利益は、毎期実質的に増加しており、グループ会社間金融も活用可能です。 構成員(株)北九州家守舎は、小倉北区に 12 名在籍する他、ビジネスオーナー・スペシャリストネットワークを有し、エリアプロデュース、リノベーション等まちに関わるプロフェッショナルが控え、強固な事業遂行基盤があります。 構成員(株)タウンマネジメント魚町は、魚町銀天街内に本社を置き、地元根差した 9 名(全員が商店街振興組合の役員)が在籍し、幅広い人的ネットワークを有しています。 <p>(3) 実績や経験など</p> <ul style="list-style-type: none"> 代表企業(株)オリエンタルコンサルタンツは、市内の響灘緑地や浅生スポーツセンターをはじめ、国営アルプスあづみの公園や群馬県立敷島公園、厚木市荻野運動公園などの指定管理等を通じて、公園の高品質な管理運営や賑わい創出、地域の様々な主体との連携の実績を有しています。 構成員(株)北九州家守舎は、リノベーションスクール@北九州の運営等を通じ、地域再生に直結する場づくり、まちづくりの担い手育成等を実施する他、リノベーションによる都市再生の取り組みにおいて(一財)都市みらい推進機構より「平成 25 年度土地活用モデル大賞」を受賞する等の実績を有しています。 構成員(株)タウンマネジメント魚町は、魚町銀天街の活性化・賑わいづくりを通じて人と地域をつなぎ、北九州市のイメージアップ、文化の継承、コミュニティの再生等を行っています。

<p style="text-align: center;">2 管理運営計画の 適確性</p>	<p style="text-align: center;">【有効性】 に関する 取組み</p>	<p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置目的及び市民アンケートの結果から、子どもたちが安全に、元気に遊ぶことが出来る公園、レクリエーションや飲食スペースを活用してリラックス出来る公園、全ての世代がウォーキングやランニングなど、気軽にスポーツを楽しむ公園、家族や気の合う仲間同士で『行ってみたいくなる公園』を目指します。 ・閑散期においても、人々が集う環境づくりに努め、毎月の土日祝のイベント開催率を、既存のイベントも含めて 40%以上となるような賑わいづくりに取り組みます。 ・両公園が持つポテンシャルに相応しい高品質で快適な公園づくりに向け、これまでの公園管理実績で得た豊富な経験とノウハウを、余すことなく注ぎ込みます。 ・両公園での同日イベント開催の調整や、地域で活動されている団体との連携など、様々な目線から両公園間の人の流れの創出や回遊性向上に取り組みます。 ・最も重要視すべき要素である「安全・安心」について、決して疎かにすることなく、「安全と安心＝真の快適」という最大のサービスの提供に努めて参ります。 <p>(2) 利用者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園利用者が居心地良く快適に過ごせるよう「清潔」「安全」「安心」「平等」に配慮いたします。また、シンボル公園、オアシス公園に相応しい高品質かつ高次元な植栽管理を実現いたします。 ・アンケートの実施やご意見箱の設置などにより、利用者の意見や要望を積極的に収集し、ニーズとウォンツの把握と施設管理の改善につなげます。 ・利用者からの声とそれに対する改善行動等はグリーンエコハウス内やホームページに掲載し、公平性と透明性を確保いたします。 ・利用者からの意見は PDCA サイクルに基づき、「分析・評価、検討、具体策立案、実行」を実践することで、継続的改善を図ります。 ・利用者からの苦情については、迅速かつ誠意を持って対応し、改善策と苦情の未然防止と再発防止に努めます。 ・利便性とサービス向上のため、多彩なツールでフレッシュな情報提供に取り組みます。 ・ホスピタリティ溢れる接客サービスとおもてなしの精神で、利用者にとって気持ちの良い環境づくりに取り組みます。 	<p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコハウスで利用者への公園施設案内、植物や花の相談、植物の適正な維持管理、都市の魅力増進、特注自転車等で爽やかな公園巡回清掃を行なう。 ・「Park Café」は、公園の魅力を活性化するため、フリーライブの定期開催。室内に簡易スタジオ機能を持たせる。小さなギャラリーとし、作品の展示、販売。街中カフェ連携拠点。ハンゴカフェ音楽祭、演劇祭、お笑いバトルの発信拠点。 ・共通チケットにより、勝山公園とあさの汐風公園の間のカフェや公園を回遊する企画で街の賑わいに繋げる。 ・公園のオフィシャルWEBおよびSNSを情報発信メディアとしてプロデュース。 <p>(2) 利用者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が、休憩・癒しを求める緑化整備、維持、清掃を行なう。 ・利用者が、あそびに来ると常に楽しさ、出会い、学びや気づきが得られる企画推進。 ・自らの表現や作品を発表し、利便性を感じるメディア力とプロデュース力と対応。 ・公園のみならず、町のカフェと連携した企画の立案・推進のプロデュース力と対応。 ・アンケートの実施で利用者の声の吸収。 ・苦情処理対応マニュアルを作成し全てのスタッフの適切な対応。 ・「Park Café」の公式サイトを作成により、公園情報や周辺情報の発信。 	<p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営理念や基本方針の達成状況を客観的に確認できる目標管理(MBO)を実施し、以下の定量的な成果目標(アウトカム目標)を設定します。 <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 勝山公園イベント開催率「毎月 50%以上」/1-2. あさの汐風公園のイベント「毎月開催」 2. 利用者満足度「前年度比増」達成 /3. 地域団体と積極的に連携し「まちの価値」向上 ・目標を確実に達成するため、客観的に評価できる 12 の管理運営方針と指標を設定します。 ・WEB アンケートでの市民ニーズ把握結果に基づき、利用者増加や利便性を高める約 30 の賑わいづくり事業を実施します。実施にあたっては、地域団体と連携を行い魅力をアップさせます。 ・両公園の連携イベントや教室の開催だけでなく、周辺施設や商店街との連携により、都心部への来街者を増大させ、かつ回遊性を高めて滞在時間を延ばし、「まちは公園」を実現します。 ・営業・広報は、魚町商店街の懸垂幕等の活用や地元メディアとの連携、北九州まなびとESDステーションの活用等、当JVが北九州・福岡で培ったノウハウと信頼を武器に、スケールメリットを活かして展開します。 <p>(2) 利用者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者・当JV間の双方向コミュニケーションにより信頼関係を構築し、ニーズや不満等の把握と社内外による分析・対策により、利用者満足度の向上が確認できるまで改善行動を実行します。 ・利用者の要望・苦情(ニーズ)を複数の方法で収集・把握し、未利用者の潜在的な願望(ウォンツ)も発掘します。意見に対する回答・改善行動は、グリーンエコハウス等で公開(見える化)します。 ・苦情に対しては、公平・公正・迅速に対応します。並行して、未然防止と再発防止に努めます。 ・情報提供は、魚町商店街の来街者とクロスメディアにより、未利用者を含めて行います。 ・魚町商店街の来街者へのサービス提供を見据え、両公園及び小倉都心部への集客を誘発します。
	<p style="text-align: center;">【効率性】 に関する 取組み</p>	<p>(3) 指定管理料及び収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のサービス向上と経費の削減という、一見すると相反する要素を実現させるため、経費を節減すべき部分と、そうではない部分とをしっかりと検証したうえで収支計画を立てています。 ・当団体代表企業は、植栽管理や清掃などの作業に必要な機器類や車両の保有や、即戦力のある人員、廃棄物業登録など、維持管理におけるほぼすべての業務を自前で実施可能であるため、高品質な維持管理と支出コストの低減の両立を実現いたします。 ・スタッフのマルチジョブ化(多能化)により、効率的な人件費の運用を実現します。 ・スケールメリットや集中した購買システムの活用、また相見積りの実施など、適正かつ安価に調達することで、経費低減に努めます。 ・廃棄物の減量や、節電・節水・モノを大切にするなど、省エネと環境への意識向上を図ります 	<p>(3) 指定管理料及び収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Park Café」の運営は、初年度については初期投資に費用が必要、2年目以降は事業収入が見込まれるため、余剰金の一部を自主事業・提案事業に再投資する。 ・管理業務では、コスト削減のため随時懇談会を開き研究する。 	<p>(3) 指定管理料及び収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスの品質向上、安全安心を確保した上での徹底したコスト削減に加え、賑わいづくり事業や自主事業の展開により、無駄のない効率的な管理運営を行います。 ・日常的に賑わいづくり事業として有料イベントを展開し収入増を図るとともに、まちづくりファンドを活用して資金調達を行い、公園の魅力と価値を向上させます。

	【効率性】 に関する 取組み	<p>【指定管理料提案額】 平成29年度 指定管理料 55,368 千円 平成30年度 指定管理料 54,190 千円 平成31年度 指定管理料 52,469 千円 平成32年度 指定管理料 51,506 千円 平成33年度 指定管理料 50,693 千円</p> <p>(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性 ・当団体代表企業の長年に渡る指定管理者としての実績と経験から、堅実な収支計画を立案しており、実現性の高い予算編成となっています。 ・収入においては、当団体のこれまでのイベント運営実績等による指標を基に計画し、期待値などによる過度な見込みとならないよう、妥当性に配慮しています。 ・支出については、当団体のこれまでの経験と実績が指標となっており、過度・過小なものとならないよう適正かつ堅実に計画しています。 ・再委託については、当団体代表企業は、維持管理におけるほぼすべての業務を自前で行なえることから、内製化による業務実施が可能です。</p>	<p>【指定管理料提案額】 平成29年度 指定管理料 54,754 千円 平成30年度 指定管理料 53,135 千円 平成31年度 指定管理料 51,431 千円 平成32年度 指定管理料 50,759 千円 平成33年度 指定管理料 49,786 千円</p> <p>(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性 ・駐車場料金＋自動販売機売上＋自主事業の収入＋管理委託金で運営管理を行なう。 ・駐車場料金は、現在設定されている料金を継続。 ・「Park Café」の収入の一部を賑わいづくり事業に再投資する。</p>	<p>【指定管理料提案額】 平成29年度 指定管理料 55,500 千円 平成30年度 指定管理料 54,000 千円 平成31年度 指定管理料 52,500 千円 平成32年度 指定管理料 51,500 千円 平成33年度 指定管理料 50,500 千円</p> <p>(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性 ・収支計画は、当JVの類似実績や見積取得により、想定金額ではなく実績に基づく妥当性・実現性の高い積算としています。 ・当JVでの管理運営を基本とし、特殊作業等を市内業者を基本に再委託します。</p>
2 管理運営 計画の 適確性	【適正性】 に関する 取組み	<p>(5) 管理運営体制など ・きめ細かい公園維持管理を可能にするため、管理事務所であるグリーンエコハウスへの人員配置を強化します。 ・団体を構成する各企業の本社(支社)から構成されるサポートチームによって、現地のバックアップを行なっていきます。 ・管理事務所を常時2名体制とし、「マルチジョブ化」を推進するとともに、緊急時の場合は本部から現地に派遣いたします。 ・統括責任者には、公園管理事務所所長の経験を持つ者を予定しています。また、維持管理の統括責任者には1級造園施工管理技士保有者を選任します。 ・接遇研修の実施や、各種資格などの取得支援など、職員の資質向上に取り組めます。 ・これまでの公園管理運営で培った、地域・学校・関係団体などとの連携や協働をさらに強化し、様々な取組みを行ないます。</p> <p>(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など ・北九州市個人情報保護条例およびその他関係法令を遵守し、プライバシーポリシーや個人情報保護規程を制定したうえで、個人情報の厳重な管理と適切な取り扱いを行ないます。 ・接遇などの教育研修による職員への意識啓発に努め、中立性を堅持する管理運営をいたします。 ・人権啓発推進に努め、研修受講やヘイトスピーチ排除の啓発活動などに取り組めます。 ・高齢者や障害者、ベビーカー利用者、外国人など、多様な方々に向き合うため、ユニバーサルマナー取得の推進に取り組めます。 ・安全管理マニュアルを作成し、事故発生時の迅速な対応を可能とします。 ・危機管理マニュアル(災害対策マニュアル)を作成し、災害発生時の危機管理体制の明確化と対応方法の明確化に取り組めます。 ・管理事務所職員の巡回を実施し、日常から防犯・防災・安全確保に努めます。</p>	<p>(5) 管理運営体制など ・管理責任者(管理事務所長) 1級造園施工管理技士、グリーンアドバイザー等の資格 花のコーディネーターとして活躍 ・管理副責任者(マネージャー) 北九州市緑化担当職員として38年間の経験 ・「Park Café」店長 カフェの経営経験者 ・その他スタッフ ・スタッフの資質向上のため、基本的なものは日常教育及び専門的なものは外部研修。 ・プロデューサー力の育成のため富田剛史による教育。</p> <p>(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など ・個人情報とは、適正な取得を行い、利用目的を明確にし、法律及び条例を遵守する。 ・常に平等かつ公正に利用できるよう安全で快適な管理運営を行なう。 ・私達は、正当な理由がない限り、利用を拒まず、特定の個人や団体を優先することのないように配慮し、子どもから成人、高齢者、障害者がそれぞれの目的で公園が利用できるよう管理運営する。 ・公園利用者に対する安全対策は、施設の損傷や破損及び災害等による危険箇所には立入禁止措置を行い、危険箇所の表示やパトロールで周知する。 ・危機管理体制として、事故や災害の発生時には、速やかに対処できる体制づくりを行い対策本部は、(株)九州造園に置く。</p>	<p>(5) 管理運営体制など ・大規模公園や類似する施設でのサービス業の経験豊富な人員を「所長」(現地責任者)としてグリーンエコハウスに常駐させます。その他の業務責任者等にも経験や資格のある者を配置します。 ・履行確認体制を整えると共に、緊急時や大型イベント時等は市内事業所や本社がバックアップします。 ・研修等により公園の管理運営を幅広く行える人材の育成を行い、管理運営の質を向上させます。 ・産業や文化を生み出すことを念頭に地域住民や地元団体等と連携・協働して事業を展開します。</p> <p>(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など ・個人情報保護はもちろん、文書管理、情報公開等も責任者を定めて確実に実施します。代表企業のISMS取得のノウハウも活用し、関係法令や市条例、ガイドライン等をふまえた情報管理を行います。 ・平等・公平・公正な管理運営を実行します。反社会的勢力には毅然と法的対応を行います。 ・起こりうる災害や事故に対応したマニュアル作成や訓練の実施、ハード・ソフトをミックスした事故防止と安全対策により、リスクマネジメントを徹底します。 ・日常からの訓練により災害に対し万全の備えをします。万一の時には、現地のみでなく当JVも対策本部を設置しバックアップします。</p>

※各応募団体の年度毎の提案金額も記載すること。

北九州市立勝山公園・あさの汐風公園
指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 平成28年10月8日(土) 13:00~16:50
- 2 場 所 北九州国際会議場(小倉北区浅野三丁目9番30号) 1階 11会議室
- 3 出席者 (検討会構成員) 薛構成員(座長)、内田構成員、藤田構成員、梅田構成員、
勅使河原構成員
(事務局) 建設局公園緑地部長、公園管理課長、緑政課長、公園管理課担当係長及び
職員、緑政課担当係長及び職員、小倉北区役所まちづくり整備課長

4 会議内容

- 当日のスケジュール、審査にあたっての留意点、審査結果の公表等について事務局より説明。
- 構成員の互選により、座長を選出。

○応募団体(北九州パークマネジメント共同事業体)より提案概要に関してヒアリング

(構成員) 3点お聞きしたい。

1点目は、2公園での同時イベントで集客を図るとのことだったが、過去実施したイベントでは周遊性が見られなかった。本当に同時イベントで集客を図れるか。また、公園周辺の地域との連携はどのように考えているか。

2点目は、勝山公園では朝ジョギングしている方を多く見かける。ただ、福岡市の公園等と比べると、まだまだ少ないように感じる。ジョギングの利用者を増やす具体的な提案はあるか。

最後に、提案書の中で、6月のイベントを入れており、雨の場合は代替施設を活用することだが、これは本当に利用者にとって使い勝手がよいものか。

(応募団体) まず1点目の2公園の周遊性については、正直、あさの汐風公園については、厳しいと考えている。あさの汐風公園の周辺では、スタジアムと新しい公園を整備しており、それらと何か連携をとってやっていくくらいのことしか、思いつかない。利用者増加に向けた特効薬的な方策はないというのが正直なところである。

次に、勝山公園でのジョギングの件だが、少ない理由はランステーションとあって、走った後にシャワーを浴びたり、くつろげる施設が今はないためだと考えている。これができれば、仕事帰り等での利用が増え、利用者の増加が見込めるのではないかと考えている。

ジョギング等の公園利用については、ランニング教室等を開催し、勝山公園を走ることに慣れてもらうことにより、日常の利用を増やしていきたいと考えている。

最後に6月のイベントの件だが、雨をしのげる場所が必要だろうと考え、周辺施設を訪ね歩き、代替施設を確保した。イベントの種類によっては、そぐわない面もあるが、代替施設を少

しでも確保したいとの気持ちから提案している。

(構成員) J Vを構成する3団体について、それぞれの役割、具体的にいつから何を実施するのかを各団体から説明してほしい。

(応募団体) 岡崎建工(株)は公園の維持管理をメインで実施する。R K Bと NORTH NINE で賑わいづくりの部分を担当する。R K Bは主に、団体で実施するイベントの告知や広報を自社で有しているテレビやラジオを通して実施する。NORTH NINE はイベントの実施や遊具の貸し出し等の事業を実施することとしている。具体的な時期については、今回の応募で採用されてからになるが、採用されれば、4月からの業務実施に向け、告知・広報を実施していきたいと考えている。

(構成員) 既存で実施されているイベント、他社が実施するイベント等は受け入れていくのか。

(応募団体) 他社が実施するものも含め、既存で行われているイベントは最大限活用し、その合間に自分たちのイベントを実施するように考えている。

(構成員) 2公園のポテンシャルをどう考えているか。また、そのポテンシャルを踏まえ、主に推進していきたい部分はどこか、具体的に教えてほしい。

(応募団体) 両公園のポテンシャルについては、非常によい設備が整っていることと、植栽の管理についても、限られた予算の中で、高いレベルで管理されていることだと思う。ただ、日常的に人気(ひとけ)がない。ちょっとしたことで、人気(ひとけ)を作ることができると考えている。自社では5年間をかけて、両公園に人気(ひとけ)を作っていきたいと考えている。具体的には、大きなイベントをどんどんやるということではなくて、作業員を常駐させ、緑地の維持管理を実施しようと考えており、手入れをしている人が毎日いるというだけでも、すごく人気(ひとけ)が出てくる。あわせて、小さいイベントをこつこつとやることによって、少しずつ人が集まるようになるのではないかと考えている。

(構成員) 植栽の維持管理について、市が示している植栽の維持管理費より安く実施することになっているが、どのような工夫を行っているのか。また、現在と同等の維持管理レベルの水準を保てると考えているか。

(応募団体) 現在市では、業務毎に入札で発注しているが、指定管理者になれば、5年間あるため、人を現地に常駐させてやること、維持管理に使う機材等も既に有していることなどから、安くできると判断している。また、我々は、現在のレベルと同等では意味がないと考えており、今以上の維持管理をしたいと思っている。

(構成員) 有料公園も無料公園も管理の実績があるとのことだが、無料公園では休園日等はないため、利用者がある中で作業を実施することとなるが、そうした対策で何か考えられていることはあるか。

(応募団体) 無料公園は定休日がないため、きちんとした安全対策、作業する場所は囲み利用者が入らないような形にして、作業を行うなどの対策を行いたいと考えている。

○構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入。

○応募団体(あさの勝山E C O R A共同事業体)より提案概要に関してヒアリング

(構成員) 施設の管理運営に対する理念や基本方針について、提案書では「イベントをつくる」や「人を育

てる」などが最初に挙がっているが、北九州市の緑の基本計画など行政的に基本的な部分が見えてこない。補足はあるか。

(応募団体) 北九州市で造園業を営んでおり、当然のこととして書いていないが「緑の基本計画」は十分熟知している。今回は公園の維持管理にプラスアルファとして人を集めることに意識を持っていった関係で、このような書き出しとなった。造園会社なので維持管理、公園というものは意識している。

人を集めることを、イベントではなく、日常、人がいる空間をつくるのが造園とともにあることが重要だと考えた。

(構成員) カフェは提案事業、自主事業のどちらで行うのか。

(応募団体) カフェのベースになる部分は提案事業で行いたい。さらに自主事業として今後いろいろな事業を組み、自主事業として収支をあわせて公園のにぎわいにつなげていきたいと考えている。

(構成員) エコハウスが現状かなりもったいない施設なのでカフェをするという提案はよいと思うが、カフェの改装費用は収支計画のどこに書いてあるか。

カフェでの例えば音楽系のイベントなどを企画しているようだが、それは中学生以上がメイン対象となると思う。幼児から小学生に向けて日常的に集まれるようなイベントか何かを考えているか。

(応募団体) 改装費用は賑わいの予算から出し、自走しながらカフェを運営していく。

日常的なイベントというよりも、ただお茶を提供するのではなく、そこに様々な文化をつくっていくというスタンスでやれば、毎日がイベントであり、毎日がわくわく感を生み出していくものになる。

音楽は何も中学生以上ということはない。そこに本当に、「この町に楽しいものがたくさんある」、「自分たちが表現したいことが認められる」夢があれば子どもたちはこの町が好きになる。また、子どもたち相手には教室や講座なども今までやってきたが、これからもやっていく。

(構成員) 植栽管理費の見積を市の積算額より安くできた理由は何か。

(応募団体) 総予算が決まっていたので、その中で予算配分をした。エコハウスの管理者、各施設の管理運営費に足りない部分があり、それを配分して残りの額で植栽管理をやっていけるという結論に達したのでこの金額とした。清掃班についても専従班という形で常時きれいにしながら花壇もその中で扱って、一部植物の管理も扱っていく。そのような形でやっていくことで十分対応できる。

(構成員) 勝山公園はパークカフェを行うという提案だが、あさの汐風公園は影が薄い。そこはどうするのか。イベント、賑わいづくりに対して市民がどのような満足を示すのかについて、どのような評価を行うのか。

(応募団体) 今回の提示予算で勝山公園とあさの汐風公園で半々にわけてもよい企画はできないのではということで今回は勝山公園に集中して提案をした。ただカフェを通じて街のカフェを融合していきながら、カフェとカフェの点を線で結びながら汐風公園でやっていけるような自主イベントを行ったり、当社でも自主事業を頻繁にやっているなのでそのフィールドを使っていきたい。

あさの汐風公園は離れていて、しかも宿り木がないので日常は難しい。そこでカフェで点をつないでいき、あさの汐風公園はイベント型としてそこまで人をもっていく動線を考えた。

評価に関しては現実には閉鎖型の公園ではないので何ともいえないが、アンケートをとるとか、イベントがない時の人数カウントをしようと考えている。

(構成員) 小倉城、小倉城庭園などにもいろいろなイベントがあるが、それらとの関連があれば安心だったが、その辺りの考えはいかがか。

(応募団体) それはもちろんである。募集要項にまちの賑わいをつくることがはっきり書かれていたのでこの企画では、まちなか、魚町などを通して、駅の北側に出ることをまず考えた。

当社では、毎年小倉城と共同でイベントをさせていただいている。地域との連携でいいものができるのではと考えている。

(構成員) 収支計画の中でカフェの経費が再投資の額を除けば年々減っている。再投資が増えるということは収入が増えるということか。これはどういう仕組みか。カフェの運営経費と支出はどうなっているのか。

(応募団体) 収支計画は賑わいの予算が減っていくということで作成している。それでももっと賑わう未来をつくるのが命題。最初にカフェの種を植える。それを育ててますます賑わう。カフェ自体の収入は増えると考えており、利益分は次の企画に再投資する仕組みにする。

(構成員) カフェを飲食の場とすると、人件費等がかかる。利用者からは収入がある。差額がかなりあるから、それを再投資することで経費が減るということか。

(応募団体) 経費は減らない。収入と支出のバランスをみながら事業を拡大していこうと考えている。

(構成員) あさの汐風公園の維持管理については現状維持か。かける予算は市が直轄でやっているときと同じか。

(応募団体) 当社であさの汐風公園の維持管理を行った経験がある。非常に美しい状況を維持しているが、今後もそれを維持していく。周りの花壇についてもアピールできるデザインにしたい。総予算の中でやっていく。

○構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入。

○応募団体（まちは公園共同事業体）より提案概要に関してヒアリング

(構成員) この指定管理業務は、北九州の公園や緑地のための管理であるが、上位計画に対するこのことの位置付けを理解されているのかどうか、あるいは、芝生や樹木など公園の維持管理に対して具体的にどういうことを行うのか、これに対する説明がなかったので補足があれば伺いたい。

(応募団体) まずは管理運営方針の設定を考えるとときに、上位計画について提案書の中で述べている。都市公園の存在価値、公園が元々有する花とか緑、自然それから防災といった機能をきちんと管理運営しながら守っていく。今回、この2つの公園では、賑わいづくり事業ということもあるので、都市公園の存在価値をきちんと守りながら展開していく提案をさせていただいたが、少し説明が足りなかったかもしれない。

ただ、公園そのものである花とか緑については、市民の方々が恩恵を受けるような、花と緑の教育系のものとか、花をもう少し増やしたいといった提案をさせていただいている。勝山公園とあさの汐風公園には花がたくさんあるが、もう少し増やしたいし、公園である以上、花とか緑を重視していきたい。それから開放的な緑の空間というところもあるので、それを損なわないようなイベントや賑わいづくりを考えている。

(構成員) 提案で、「アクティビティのある日常」とか、「稼ぐ公共」という言葉が出てきたが、この2点の具体的な内容を聞かせてほしい。それから、色々なイベントの提案があるが、これを全てやるということなのか、このうちのいくつかをやるということなのか、具体的にお聞かせ願

たい。

(応募団体) まずはアクティビティだが、イベントの提案がアクティビティである。今、公園を含むインフラが、公共財政が逼迫しているという状況もあるので、公共には市場原理がなじまない面はあるが、民間活力を活用していく、そういうことが私共に求められていることと考え、「稼ぐ公共」という表現にしている。

それからイベントの提案は、5年間かけて全てやっていくものである。最初は少しずつになるが5年間あるので、今回、北九州家守舎やタウンマネジメント魚町と組んでおり、私共もグリーンパークで沢山のイベントをやっているの、問題なく実施できる。

(構成員) イベントは提案事業か自主事業か、また、平日に実施するものはどれになるか。

(応募団体) 提案書では提案事業と自主事業を分けて記載しているが、当然市と協議しながら進めていく。

平日は、持込み等のイベントもあるので調整が必要になると思うが、基本は教室や講座、夏休みについては遊具とかは平日でもできると考えている。

(構成員) 3点お聞きしたい。

1点目が、沢山のイベントを提案しており、勝山公園とあさの汐風公園の具体的な回遊性がうまくいくということだったが、何か胆となるものがあれば教えていただきたい。それから、これだけのイベントをやるとなるとPRも重要になる。どういうPRをするのかも伺いたい。

2点目が、提案ではイベントか沢山あるが、周囲の環境への配慮とリスク管理とか、あさの汐風公園では隣が病院なので、こうしたことへの対処はどうされるのか少し疑問がある。

3点目が、収支計画で事業収入が29年度から30年度で増えている理由は何か。

(応募団体) まず1点目の回遊性だが、広報というものが非常に重要になってくる。今回、広報をかなり手厚く提案している。チラシを発行したり、今回大きい項目は、商店街で懸垂幕や掲示板などの広報ツールなど、普段公園にあまり目が向いてない方に対して、勝山公園とかあさの汐風公園のPRができると、足を運ぶ人が少しでも増えれば回遊性も出てくると考える。それをさらに付け加える形で、ポイントカードなどを組み合わせることでさらに回遊性が増すと考えている。この体制については、私共3社のJVで、グリーンパークには広報部隊があり、魚町にも商店街のメンバーがおり、北九州家守舎もいるので、そういう点で問題なく実施できると考えている。

またイベントの、病院等周囲の環境への対応も可能と思う。

それから、事業収入が29年度から30年度に増えるのは、予定ではあるがオープンカフェを来年度設置管理許可を申請して、30年度からオープンして収入をあげるということで計上した。

(構成員) 自主事業収入がかなり高いウエイトを占めているが、自主事業がないと指定管理事業はできないのか。具体的な自主事業の収支は、収入は明確に書いてあるが、支出の方がどこにどう配分されているかがもっと明確になったら分かりやすいのだが。

(応募団体) 最低限の公園の管理運営については指定管理事業でできる。ただ、付加価値をあげたり、上質な空間にしていくために、自主事業で得られた収益などをさらに循環させていきたいというのが提案内容である。

また、一つ一つのイベントを計画して、それについては細かく積み上げた。様式上の説明は少なかったかもしれないが、指定管理事業か自主事業なのか、基本的な仕分けはしている。ど

ちらで実施するかについては市とも協議しながら決めていきたい。

(構成員) 自主事業に頼らなくても提案事業はできるのか。自主事業の収入が高いので、おおもとの指定管理事業に影響しないかを心配している。

(応募団体) 指定管理事業に影響しないように自主事業の収支を組んでいる。ただ、自主事業の収益を一部回すことによって、一部の指定管理事業をやるという提案もあるので、自主事業の収入をあてるのか、企画の支出ベースでやるのかというところがある。

(構成員) 北九州家守舎とタウンマネジメント魚町は事業の中でどういう風に関わってくるのか、具体的にあれば伺いたい。

(応募団体) 提案書に役割分担を書いているが、簡単に言うと、今回の提案事業・自主事業について、北九州家守舎とタウンマネジメント魚町に入ってもらえることになる。今回の提案の中で、餅は餅屋で、それぞれ実績があるところが運営していくイメージである。例えばオリエンタルコンサルタンツなら遊具を所有している、北九州家守舎でも色々手掛けている、広報関係はタウンマネジメント魚町と、そういったところを活かしながらやっていく。

(構成員) 植栽管理について伺いたい。グリーンパークのご経験があるが、今回は24時間人がいる公園ということになるが、直接作業されるのか、委託というか外注のような形になるのか。また、有料公園と違って、常時人がいる公園であるという観点から、植栽管理、芝生管理の考えを伺いたい。

(応募団体) 基本的には自社でと考えているが、ただイベントの際など、芝刈りとか急いでやらないといけないときは、外部の手を借りて早めに維持管理を終わらせるということはある。

また、人が常時いるので、安全管理がやはり重要と考えている。私共のスタッフの中にも常時開放している公園の植栽管理を行っているスタッフもいるので、その者が陣頭指揮をとって植栽管理していく。常時人がいるので、安全管理が非常に重要なものになる。

(構成員) 植栽管理のスタッフは、グリーンエコハウススタッフが該当するのか。それとも、常駐ではなくて、必要なときだけスタッフがやってくるのか。

(応募団体) グリーンエコハウススタッフではなく、業務責任者が植栽・施設管理を担当する。勝山公園・あさの汐風公園の植栽管理の責任者ではあるが、常駐という形ではない。

○構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入。

○構成員は、審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(構成員) 北九州パークマネジメントは、実績、経験が評価できる。

(構成員) 審査の結果、指定管理者としての適性については、現在の評価レベルでよいか。

(全構成員) よい。

(全構成員) 検討会の評価レベルは、

○北九州パークマネジメントは、指定管理者としての適性の管理運営の理念、人的・財政基盤の項目が3、実績・経験の項目が4

○あさの勝山ECORAは、指定管理者としての適性の管理運営の理念、人的・財政基盤、

実績・経験の項目が3

○まちは公園は、指定管理者としての適性の管理運営の理念、人的・財政基盤、実績・経験の項目が3
が妥当であると考える。

○構成員は、審査項目「有効性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(構成員) まちは公園は、公園の維持管理という市が一番求めているところについて、維持管理の専門集団という点では少し心配である。また、色々なイベントの提案の根拠として、独自アンケート調査でニーズが高いところとあったが、根拠としては不十分である。

(構成員) あさの勝山E C O R Aは、北九州市のイベントをみると殆どが一過性のものが多い中、唯一常設型のカフェを提案していることは評価できる。

(構成員) まちは公園は、利用者の満足が得られるように考慮されている点が評価できる。

(構成員) 北九州パークマネジメントは、植栽に十分配慮した管理をする点、苦情対応などが評価できる。

(全構成員) 検討会の評価レベルは、

○北九州パークマネジメントは、施設の設置目的の達成に向けた取組みの項目が4、利用者の満足度の項目が3

○あさの勝山E C O R Aは、施設の設置目的の達成に向けた取組み、利用者の満足度の項目が3

○まちは公園は、施設の設置目的の達成に向けた取組み、利用者の満足度の項目が3
が妥当であると考える。

○構成員は、審査項目「効率性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(構成員) あさの勝山E C O R Aは、常設のカフェを置くとなると、常時人を配置することになるので、収支をプラスにできるか疑問である。

(構成員) まちは公園は、収支が自主事業次第でどうなるか分からない点が心配である。

(構成員) まちは公園は、沢山の事業を持ってきて、沢山稼ごうとする点は評価できる。

(全構成員) 検討会の評価レベルは、

○北九州パークマネジメントは、指定管理料及び収入、収支計画の妥当性及び実現可能性の項目が3

○あさの勝山E C O R Aは、指定管理料及び収入、収支計画の妥当性及び実現可能性の項目が3

○まちは公園は、指定管理料及び収入、収支計画の妥当性及び実現可能性の項目が3
が妥当であると考える。

○構成員は、審査項目「適正性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

(構成員) 審査の結果、適正性については、現在の評価レベルでよいか。

(全構成員) よい。

(全構成員) 検討会の評価レベルは、

○北九州パークマネジメントは、管理運営体制、平等利用・安全対策・危機管理体制の項目が3

○あさの勝山E C O R Aは、管理運営体制、平等利用・安全対策・危機管理体制の項目が3

○まちは公園は、管理運営体制、平等利用・安全対策・危機管理体制の項目が3
が妥当であるとする。

○構成員は、次のとおり検討会としての検討結果をとりまとめた。

北九州パークマネジメント共同事業体は、公園の維持管理において現地に作業班を常駐させ、市の要求水準を堅実に満たす内容となっている。また、賑わいづくりについても、一過性のイベントだけではなく着実に日常的な利用を増やす提案を行っており、総合的に見て安定感がある。

あさの勝山E C O R A共同事業体は、維持管理に関する提案が乏しく、賑わいづくりで魅力のある提案事業もあったが、それに頼った提案となっている。

まちは公園共同事業体は、維持管理に関する提案が乏しく、多くのイベントを実施しようとする意欲はあるが、賑わいづくりに偏った提案となっている。

審査の結果、検討会としては北九州パークマネジメント共同事業体が指定管理者の候補として最も相応しいと考える。

○とりまとめを行って、検討会を終了した。